

## 第5章 式典演出計画

### 1 基本的な考え方

県土の7割を森林が占める森林県「愛媛」から「森林と共生する文化」を全国へ向けて発信する。

そして参加者全員が森林の有する公益的機能の重要性を改めて認識し感謝をするとともに、これらを大切に守り育て、次の世代に健全な森林として引き継いでいくという決意を共有出来るような演出を行う。

### 2 式典演出計画の概要

#### (1) プロローグ(歓迎アトラクション)

法螺貝吹鳴

太鼓競演

琴演奏

なぎなた演武

大会イメージソング「愛媛の歌」

#### (2) 式典

皇族殿下をお迎えして式典の開催

皇族殿下のおことば

各種表彰

緑の少年団活動発表

メインテーマアトラクション

大会宣言

#### (3) エピローグ(式典後アトラクション)

野球拳おどり

松山市メッセージソング「この街で」

### 3 式典構成及び出演者

MAP(分)	行 事 項 目	登壇者・出演者等	音 楽	備 考
30	参加者入場開始 参加者入場完了		BGM	
プロローグ（式典会場）				
(歓迎アトラクション)				
1	オープニング 法螺貝 吹鳴	奏者 [未定]		
8	太鼓競演 ・津島平安太鼓 ・五十崎「大風出世太鼓」	津島太鼓集団「雅」 内子高校 郷土芸能部		
15	愛媛県紹介	映像放映		
8	琴演奏	西予市立野村中学校 箏曲部		
3	皇族殿下お手入れ行事	映像放映(前日録画映像)		
10	サテライト会場 育樹活動	映像放映(生中継) 東予1箇所、南予1箇所		
8	なぎなた演武	愛媛県なぎなた連盟		
3	大会イメージソング 「愛媛の歌」	秋川雅史	式典音楽隊	
3	大会概要説明 皇族殿下お迎え案内	司会者 [未定] ・司会者自己紹介 ・大会テーマ等説明 ・式典等の注意事項等		
式 典（式典会場）				
1	皇族殿下 御着席	御先導：愛媛県知事	唱歌「紅葉」 式典音楽隊 [合唱隊] 愛大附中・松山東・新居浜西中・西条高・西条北中 + 一般合唱団 計 150名 [吹奏楽隊] 北条・松山東・松山西・松山南・松山北・松山中央・伊予高校 計 100名	武道館エントランスで松山少年少女合唱団の唱歌「紅葉」で皇族殿下をお出迎え
2	開会のことば (ファンファーレ)	国土緑化推進機構 副理事長	[ファンファーレ隊] トランペット 8名、トロンボーン 8名 (吹奏楽隊から選抜)	
6	三旗入場 緑の少年団入場行進	先導：伊予市立郡中小学校 鼓隊 県内緑の少年団	鼓隊 15名 新祝典行進曲(両殿下御成婚記念) 県警音楽隊 30名	
2	三旗掲揚 国歌斉唱	県内緑の少年団 国歌「君が代」 秋川雅史	式典音楽隊	
6	主催者あいさつ	大会会長(参議院議長) 愛媛県知事		
3	歓迎のことば	愛媛県議会議長		
4	皇族殿下のおことば	皇族殿下		
8	表彰 「全国緑の少年団活動発表大会」入賞団体 「全国育樹活動コンクール」入賞者 「ふれあいの森づくり」優良市町村等 「愛媛県緑化等功労者」	贈賞 大会会長(参議院議長) 農林水産大臣 国土緑化推進機構 理事長 愛媛県知事	曲目 [未定] 県警音楽隊	
4	みどりの贈呈	農林水産大臣 全国緑の少年団 県内森林ボランティア団体	曲目 [未定] 県警音楽隊	
8	緑の少年団活動発表	西谷緑の少年隊 (東温市立西谷小学校)		

18	メインテーマアトラクション 県民参加による「県民手づくり」の 創作アトラクション(ダンスパフォー マンス)を上演	ダンス隊 等 [未定] 「千の風になって」 秋川雅史	[ダンス隊] 勝山中・松山東・松山西・松山南・ 松山北・松山中央・東温・新田・済美 計210名  式典音楽隊	
	森林の四季の移り変わりをモチーフに命のめぐり(循環)と輝き、その尊さを創作ダンスで表現するとともに、「秋川雅史」氏と合唱隊による「千の風になって」の合唱を行うなど大会の基本コンセプトであるテーマ「循環」を具現化することとする。			
3 (1)	誓いのことば	県内林業後継者 県内森林ボランティア代表 (サテライト会場から映像放映(生中継)) 県内緑の少年団		代表サテライト会場
3	大会宣言 (ファンファーレ)	国土緑化推進機構 理事長	県警音楽隊	
3	次期開催県あいさつ	長崎県知事 (映像放映)		
2	閉会の言葉 (ファンファーレ)	松山市長	ファンファーレ隊	
	皇族殿下 御退席	御先導：愛媛県知事	唱歌「故郷」 式典音楽隊	武道館エントランス で松山少年少女合唱 団で唱歌「故郷」で皇 族殿下をお見送り
エピローグ (式典会場)				
(式典後アトラクション)				
10	野球拳おどり (開催地(松山市)の郷土芸能)	出演団体等 [未定] (松山市において選定)		
6	松山市メッセージソング 「この街で」	”		
3	お見送りの言葉	サテライト会場から映像放映(生中継)		東予1箇所、南予1箇所
	終了			
	参加者退場	出演者・スタッフ全員でお見送り		武道館 正面階段周辺
参加者はおもてなし広場へ				

#### 4 アトラクションの基本構成

区 分	演 目	選 定 理 由	出 演 団 体 等
歓 迎 アトラクション	オープニング 法螺貝吹鳴	西日本最高峰であり、本県のシンボリック的存在である「石鎚山」に伝わる修験道(山岳信仰)の法具とされる法螺貝の吹鳴を上演する。	・奏者 [未定]
	太鼓競演 ・津島平安太鼓 ・五十崎「大風出世太鼓」	台風により倒壊した樹齢900年と伝わる三島神社の大楠を太鼓として蘇らせた、宇和島市津島町の「樹根太鼓」は、最大口径2.3mで和太鼓としては世界最大であり、その全景と響きは圧巻である。	・津島太鼓集団「雅」
		県代表として「全国高等学校総合文化祭」への出場常連校であり、勇壮な演奏には定評がある。会場である「武道館」のイメージにもマッチしている。	・内子高校 郷土芸能部
	琴演奏	西予市立野村中学校箏曲部は「第25回全国小・中学生箏曲コンクール」において3年連続9回目の優勝を果たすなど、非常にレベルの高い演奏が期待される。 また、日本伝統の和楽器である琴の演奏は純和風建築である「武道館」のイメージにマッチしている。	・西予市立野村中学校 箏曲部
	演武(演舞)	全国初の室内会場であり、全国有数の規模を誇る「武道館」をアピールするとともに、本県らしさを演出するため、全国屈指のレベルであり、武道としては華のある「女子なぎなた」による演武(演舞)を上演する。	・愛媛県なぎなた連盟
大会イメージソング 「愛媛の歌」演奏	県政発足百年を記念して、昭和48年に制定された「愛媛の歌」は、ふるさとを愛する心を育む歌詞となっており、育樹祭開催の趣旨とも合致していることから、大会のイメージソングとして採用したものである。	・本県出身のテノール歌手「秋川雅史」氏 ○式典音楽隊 [合唱隊] 松山少年少女合唱団・愛大附中・松山東高 新居浜西中・西条高・西条北中 + 一般合唱団 計150名 [吹奏楽隊] 北条・松山東・松山南・松山西・松山北 松山中央・伊予高校 計100名	
メインテーマ アトラクション	県民参加による「県民手づくり」の創作アトラクション	森林の四季の移り変わりをモチーフに、命のめぐり(循環)と輝き、その尊さを創作ダンスで表現するとともに、「秋川雅史」氏と合唱隊による「千の風になって」の合唱を行うなど、大会の基本コンセプトであるテーマ「循環」を具現化することとする。	「秋川雅史」氏 [ダンス隊] 勝山中・松山東・松山西・松山南・松山北・松山中央・東温・新田・済美 計210名 ○式典音楽隊
式典後 アトラクション	野球拳おどり	全国での知名度は非常に高いが、本県が発祥の地であることが余り認知されていない「野球拳おどり」を育樹祭を契機として全国へ向けて発信するとともに、フィナーレを迎えるにあたり会場内の盛り上げを図ることとする。	[未定] 松山市において選定 〔毎年、松山市において実施されている「野球拳おどり」大会の優勝チームを想定〕
	松山市メッセージソング 「この街で」	2000年10月に市民による「松山21世紀委員会」が「21世紀に残したいことば」あなたのことばで元気になれる『だから、ことば大募集』を開催。全国から寄せられた12,001作品のなかで、松山市長賞を受賞した『恋し、結婚し、母になったこの街で、おばあちゃんになりたい!』という作品に感動した、作家「新井満」氏とエッセイスト「三宮麻由子」さんの合作として生まれた曲。 まちづくりイベント等で活用するとともに、CDを制作し広く普及を図っている。	[未定] 松山市において選定